

いずみのひろば

2017年9月号

日本基督教団堺教会
No. 466 教会学校

「三日目に死人のうちよりよみがえり」

コリント信徒への手紙1 15章3〜8節



イエスさまは、私たちの罪のために、身代わりとなつて、十字架にかかり、死なれました。弟子たちは、逮捕されたイエスさまを見捨て、逃げて隠れていました。その弟子たちの前に復活のイエスさまがお姿を現されました。十字架で死なれて、三日目の日曜日のことです。弟子たちは、イエスさまを見捨てた弱い心を叱られると思いましたが、復活のイエスさまは、優しく「聖霊を受けなさい。」と言われました。その後、イエスさまは、四〇日の間、五〇〇人以上の人達に復活のお姿を現され、最後に、イエスさまのことを迫害していたパウロにも現れました。

パウロは、この大切なことを多くの人に信じてほしいと願ひ、手紙に書き残しました。

復活を現された弟子たちは、十字架で死んだお方がそが救い主・キリストであることを信じ、聖霊降臨によつて、世界中に伝道していきました。

復活の主イエスさまは、目には見えなくても、いつも私たちと共にいてくださいます。聖書のみ言葉を信じ、聞くとき、『使徒信条』を告白するとき、イエスさまと一体になるのです。

これから、イエスさまが復活された三日目の日曜日を覚え、教会で礼拝を守りましょう。そして、イエスさまの復活によつて、私たちの罪が赦され、新しい永遠の命が与えられたことを喜び信じましょう。



(お話 辻野 公美子)